※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史探究「詳説世界史」（山川出版）						
副教材等	明快世界史図説エスカリエ十二版（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人類の登場から清王朝の登場までの世界の歴史を学習します。プリント学習だけでなく、主体的に学ぶことができるようタブレット端末を使用した調べ学習、ディスカッションなどを行ってもらいます。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）　世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（2）　世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

（3）　世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文明の成立と古代文明の性質	自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。 おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。	a: 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 b: 壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。 a:オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 b: ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

		南アジア最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴を理解する。 殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。 春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。	社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 b:ヴァルナ制やジャーティ集団の成立をもとに、アーリヤ人社会に富や地位の差が生まれていった背景や原因を考察し表現している。 b:青銅器や獣骨など考古学的資料や『春秋左氏伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。			

※令和４年度以降入学生用

	中央ユーラシアと東アジア世界	中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解する。 遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。 漢の支配体制の変遷を理解する。 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。″ 遊牧民族の動きと魏晋南北朝の動乱との関係について理解する。 唐の勢力圏の広がりを理解する。 唐代初期の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。 安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 突厥・ウイグルと隋・唐の関係を理解する。	a：中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を理解している。 ab：兵馬俑や青銅貨幣など考古学的資料や『塩鉄論』禁耕などの資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し理解・表現している。 a：魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。 a：隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。 c：東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

	南アジア世界と東南アジア世界の展開	南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとでの仏教の発展について理解する。 「海の道」の交易における南インドの役割を多面的・多角的に考察し表現する。 グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。 ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。 東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	a: 南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。 c: 南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 a: 東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

	西アジアと地中海周辺の国家形成	パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。 ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。 民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。 ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ヘレニズム時代の歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。 ローマの内乱の発生から終息までの経緯を理解する。 「ローマの平和」が地中海世界に与えた影響を理解する。 ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 キリスト教の成立の経緯を理解している。 ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。	b: ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 a: アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 b: オストラコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 a:ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 b:勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 c:キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

二学期	イスラームの成立とヨーロッパ社会の形成	アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。 ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。 アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。 イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。 ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。 ローマ教会とフランク王国の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 カールの戴冠が世界の歴史において持つ意義について理解する。 ノルマン人が西ヨーロッパ世界において果たした歴史的役割について理解する。 西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。	a: イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 b:イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c:イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだして，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 A:西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 B:荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 C:ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

	イスラームの伝播と西アジアの動向	イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。 南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解している。 東南アジアにおいてイスラーム化が進んだ背景について考察し表現している。 アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察し表現している。″ トルコ人の進出が西アジアにもたらした変化について考察し表現している。 十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について考察し表現している。 マムルーク朝のもとでのカイロの繁栄がどのように実現したのか理解している。 イベリア半島におけるイスラーム勢力の興亡について理解している。	a: 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒（ムスリム）の連帯が維持されたことを理解している。 b:『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。 トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 C:イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和４年度以降入学生用

三学期	ヨーロッパ世界の変容と展開	中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。 十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 中世の都市が獲得した政治的地位や、そこでの人々の暮らしについて理解する。 ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ビザンツ文化が果たした世界史的な意義について理解する。	A:中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。 ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解している。 B:中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係をふまえたうえで、ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 C:中世の西ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 東ヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習
		スラヴ人が各地域で自立していった経緯を理解する。 封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 教皇権の衰退と王権の伸張の関係について理解する。 百年戦争によるイギリスとフランスの変容を多面的・多角的に考察し表現する。 神聖ローマ帝国で中央集権が進まなかった要因を多面的・多角的に考察し表現する。	A:封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。 B:大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。 C:西ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
		中世の西ヨーロッパにおいて	A:中世の西ヨーロッパの文化に			

※令和４年度以降入学生用

		キリスト教が果たした文化的役割を理解する。 西ヨーロッパにおける大学の成立過程を理解する。 中世の西ヨーロッパの美術や文学と、その時代の社会との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	ついて、キリスト教の影響が大きかったことを理解している。 B:大聖堂の写真や大学の講義風景を描いた図像資料などをもとに、中世の西ヨーロッパの文化的な特徴を多面的・多角的に考察し表現している。			
	東アジア世界の展開とモンゴル帝国	10 世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。 宋における社会や経済の発展の様子を理解する。 宋代の文化の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 モンゴル帝国が成立した背景を多面的・多角的に考察し表現する。 モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。 モンゴル帝国解体の要因を理解する。 ティムール朝がモンゴル帝国から受け継いだものを多面的・多角的に考察し表現する。″	A:10～12 世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。 b:「清明上河図」などの図像資料や荘綽『鶏肋編』などの資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引きおこした変化を多面的・多角的に考察し表現している。 A:モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。 B:モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 C:モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度